

教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感

令和2年(2020)年4月22日号 多治見市教育委員会 教育総務課

ようこそ多治見市へ ～新・転入職員受け入れ

4月1日(水)とうしん学びの丘エールにて、「令和2年度転入教職員受入れ式及び辞令交付式」を行いました。

新型コロナウイルス感染防止のために転入職員もマスクをしたり、隣の人と席を一つずつ空けて座ったりして時間も短く実施をしました。

今回の人事異動で、多治見市内の小中学校に、新たに62名の教職員を迎えました。

<転入>	
校長	6名
教頭	7名
教諭	44名
事務職員	1名
<新規採用>	
教諭	2名
養護教諭	2名
合計	62名



転入職員を代表して、教育長より辞令を受けた、南姫小学校の奥村校長が転入の挨拶と決意を表明しました。

令和元年度は、市内21の小中学校7,934名(13小学校5,323名 8中学校2,611名)の児童

生徒の自立に向けた育ちを、今回の62名を加えた、およそ800名の(非常勤職員まで全て含む)全教職員で支えます。ご理解とご協力をお願いします。

(児童生徒数及び教職員数は4月3日現在)

学校休業中の学校の児童・生徒支援

新型コロナウイルス感染防止のために続いている休校に対応するため、教育委員会では、小学生向けに「教科書を利用したインターネット学習」のサイ

トを学校のホームページを通して視聴できるようにしています。

また、学校では、教員が「学習プリント」や「相談アンケート」等を送付し、学習したプリントを返送してもらったり、電話を利用したりして学習・生活支援を行っています。また、児童生徒が笑顔になれるような動画や学習支援のための動画を作成している学校もあります。児童生徒が家庭で少しでも充実した生活ができるように工夫をしています。

外国籍等児童生徒相談員を配置します

昨年度まで、可児市のNPO法人国際交流協会からの派遣により支援を行っていた相談員(1名)・支援員(6名)を教育推進課に配置しました。このことにより、多治見市立小中学校へ入学(編入)する児童生徒についての支援を手厚く行います。

日本語や生活習慣の理解度を把握するために児童生徒ならびに保護者に対してヒアリングを行ったり、相談員からは、学校・教育委員会との連携により支援員の配置や指導方法について助言を行っていただいたりします。

<相談員より> 天野泰世

外国にルーツを持つ全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることが出来るよう、また、関わる保護者、先生方、地域の方々が安心して見守ることが出来るような日本語初期指導、適応支援、学習支援をして参ります。

「多治見が僕の(私の)故郷。」子どもたちからもそんな言葉が自然と溢れる支援を目指します。

(仮称)食育センターの建設の進捗状況



現在、5月末日の造成完了に向け施工されている状況です。

南側の乗り入れ部についてはほぼ完了しており、北側の間知石積が急ピッチにて施工しております。6月からは、建築工事がスタートします。完成は令和3年7月末日予定です。